

令和六年度県立高等学校入学者選抜学力検査

国語

時間50分

(8時45分～9時35分)

注意

- 1 問題の①は放送による検査です。問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は表紙を入れて八ページあり、これとは別に解答用紙が一枚あります。
- 3 受検番号は、検査開始後、解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 4 机の上に置けるものは、受検票・鉛筆(シャープペンシルも可)・消しゴム・鉛筆削りです。
- 5 筆記用具の貸し借りはいけません。
- 6 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 7 印刷がはつきりしなくて読めないときや、筆記用具を落としたときなどは、だまって手をあげなさい。
- 8 「やめなさい」という合図ですぐに書くのをやめ、筆記用具を置きなさい。

答えの書き方

- 1 答えは、問題の指示に従って、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 2 答えはていねいに書きなさい。答えを書き直すときは、きれいに消してから書きなさい。
- 3 答えを漢字で書く場合は、楷書かいしょで書きなさい。

1 放送による検査 (16点)

【資料】

第一中学校
山田さん
(司会)



第一中学校
吉井さん



東中学校
高橋さん



資料1 代表者会議資料

代表者会議資料

1 日時
4月25日(水) 15:30~16:10

2 目的
各学校で行っている環境保全の活動の内容と今後の見通しを知ること、活動の [] ため。

3 各学校の活動について

- 第一中学校
 - ・内容
 - ・今後の見通し
- 東中学校
 - ・内容
 - ・今後の見通し

資料2 ポスター



2 次の(1)、(2)に答えなさい。(12点)

(1) 次のア～オの——の漢字の読みがなを書きなさい。また、カ～コのカタカナの部分かいしょを楷書で漢字に書き改めなさい。

ア 寸暇を惜しんで勉強する。

イ 美しい峡谷に感動する。

ウ 収入と支出の均衡を保つ。

エ 頂上から遠くを眺める。

オ 私は白い花が殊に好きだ。

カ クラブに会員としてトウロクする。

キ ハソンした部分を修理する。

ク 自転車で本州をジユウダンした。

ケ スジミチを立てて説明する。

コ 午前中に用事をスめます。

(2) 次の行書で書いた漢字と同じ部首であるものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

枢

- 1 初
- 2 祖
- 3 狩
- 4 核

3

次の(1)、(2)に答えなさい。(14点)

(1) 次の文章を読んで、あとのア～ウに答えなさい。

【漢文】

梁丘^(注1) 抛^(注2) 謂^(注2) 晏子^(注2) 曰^(注2)、「吾^(注2) 至^(注2) 死^(注2) 不^(注2) 及^(注2) 夫^(注3) 子^(注3)」

矣。」晏子^(注4) 曰^(注4)、「嬰^(注4) 聞^(注4) 之^(注4)、為^(注4) 者^(注4) 常^(注4) 成^(注4)、行^(注4) 者^(注4) 常^(注4) 至^(注4)。

嬰^(注4) 非^(注4) 有^(注4) 異^(注4) 於^(注4) 人^(注4) 也^(注4)。常^(注4) 為^(注4) 而^(注4) 不^(注4) 置^(注4)、常^(注4) 行^(注4) 而^(注4)

不^(注4) 休^(注4) 者^(注4)。故^(注4) 難^(注4) 及^(注4) 也^(注4)。」

——『説苑』より——

【書き下し文】

梁丘抛晏子に謂ひて曰はく、「吾死に至るまで夫子に及ばず。」と。

(言った)

晏子曰はく、「嬰之を聞く、為す者は常に成り、行く者は常に至ると。

(このように聞いた、行動する人物は必ず成功し、進む人物は必ず到達する、と)

嬰人に異なること有るに非ざるなり。常に為して置かず、常に行きて

(あるのではない)

(放置せず)

休まざる者なり。故に及び難きなり。」と。

(人は私にはなかなか及ぶことができないのだ)

(注1) 梁丘抛……中国の春秋時代の人。

(注2) 晏子……中国の春秋時代の人。

(注3) 夫子……ここでは、晏子のことを敬って呼んでいる。

(注4) 嬰……晏子の名。ここでは、晏子が自分のことをさして言っている。

ア 謂^(注1) 晏子^(注2) 曰^(注2) に、【書き下し文】を参考にして、返り点をつけなさい。

イ 及ばず の主語として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 梁丘抛
- 2 晏子
- 3 為す者
- 4 行く者

ウ ある生徒が、本文の内容について次のようにまとめました。

□に入る適切な内容を、十字以内で書きなさい。

晏子は、自分は□人物であるから、人は自分にはなかなか及ぶことができない、と考えている。

(2) 次の文章を読んで、あとのア、イに答えなさい。

夏は夜。月のころはさらなり、闇もなほ、螢の多く飛びちがひたる。

また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。

——『枕草子』より——

ア 飛びちがひたる とありますが、すべてひらがなで現代かなづかいに書き改めなさい。

イ 夜 とありますが、この語について述べたものとして最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 月がよく出る季節はよいが他の季節はよくない。
- 2 暗い闇夜に螢が数多く飛んでいるのはよい。
- 3 空に星が一つ二つかすかに光っているのはよい。
- 4 螢が飛び始める時期に雨などが降るのはよくない。


4

次の文章を読んで、あとの(1)～(5)に答えなさい。(22点)


5

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)に答えなさい。(26点)


6 ある中学校で、外国語指導助手と生徒が、日本語の会話について話し合いをしました。次のやりとりを読んで、あとの(1)～(3)に従って文章を書きなさい。(10点)




日本語の会話では、最後まで聞いてはじめて肯定の文か否定の文かがわかるのですね。



そうですね。「図書館に行きます」と「図書館に行きません」のように、最後まで聞かないと意味がはっきりしないことがありますね。



こういう場合はどうかな。「強い風が…」と「強い風は…」を比べると、「強い風が…」だと「吹きます」が続き、「強い風は…」だと「吹きません」が続くと、予測できるのではないかな。助詞が「が」であるか「は」であるかの違いから、あとに続く言葉を予測しながら聞くことができますよね。



なるほど。教えてくれてありがとうございます。日本語って面白いですね。

- (1) 題名を書かないこと。
- (2) 二段落構成とし、それぞれの段落に次の内容を書くこと。
 - ・ 第一段落では、やりとりをもとに、日本語の会話について気づいたことを書くこと。
 - ・ 第二段落では、第一段落をふまえて、自分の意見を書くこと。
- (3) 百五十文字以上、二百文字以内で書くこと。